

銀漢亭日録

伊藤伊那男



- 3月3日(月)▼今日から急に寒い。九時、東京目白クリニク。七回目の点滴治療。十二時半終了。雪となる。治療の後は随分眠くなる。帰宅して倒れるようにして眠る。夜、ちらし鮎、桜餅(雛祭)。
- 4日(火)▼婦恋村からの独活、酢味噌和、キンピラに。雪となる。山下美佐さんの卒業論文を読ませて貰う。この向学心は立派！
- 5日(水)▼袖口満さんから電話を戴き、お互いの病気の近況報告。NYの月野ぼなさん、奈良の深川さん等々からも……。独活のキンピラ、とろろ汁、蓮根のキンピラ、白滝と明太子炒めなどを仕込む。全国俳誌協会「第三十二回全国俳句コンクール」の選句(応募二〇八四句)。
- 6日(木)▼「銀漢」五月号の選句に取りかかることに。午後、酵素風呂。あと買物。数句会の選句。今週は少し気怠い日が続く。雨、雪のせいかな。
- 7日(金)▼歯科定期検診。昨日作っていた鰯鰯の肝(蒸)好評。
- 8日(土)▼結婚記念日。かれこれ五十年前。午後、四谷の「主婦会館プラザエ」にて「第十二回井月忌の集い俳句大会」。当日出席の選者、天野小石、井上弘美、屋内修、西村麒麟、藤田直子、伊那男。「銀漢」勢活躍。あと隣の中華店で親睦会。帰路、春の雪。寒い一日。
- 9日(日)▼一日、ぐずぐず過す。選句になかなか身が入らず。
- 10日(月)▼昼、娘二人を連れて森下町の馬肉料理の「みの家」。馬刺、馬肉鍋など。あと深川不動堂、富岡八幡宮を詣でて「深川 伊勢屋 本店」で甘い物などを買い、居酒屋、軒梯子(私はお茶だ)。
- 11日(火)▼昼、汁粉、道明寺桜餅など。夕方、発行所に私が選者をする

- は「また、やってしまった……」であったが。帰宅してひたすら眠る。
- 18日(火)▼目覚めよし。しっかり朝食。このころ、八朔の酸味が口に合う。五月号の選句を終えて担当者に投函す。「三丁目の夕日」のエッセイ(真砂女)書く。
- 19日(水)▼八時半、順天堂。血液検査。CT検査。春の雪のせいか今日は患者さん少なく十時には全て終了する。帰宅してエッセイ一本書く。
- 20日(木)▼俳句でふてふのエッセイ二本(桜餅、柏餅)今井竜氏に投函。彗星集選句。NHK俳句二句句菜の原稿に取りかかる。昼、蕎麦。体重五十八・六キロ。「銀漢句会」。家で直前に水素水を吸って寝てしまふ遅刻。
- 21日(金)▼週間振り位か、日の出を拝す。午後、調布の俳句講話。長野県、飯沼と俳句について。あと竹内夫妻他と喫茶店。
- 22日(土)▼十一時、「日本橋 吉」、「纏句会」十一人。あと井蛙さんと「千両千両」井月さんまつり」についての打合せ。丁度、高島屋で「大近江展」をやっていたので茶、菓子などを買う。
- 23日(日)▼午後、米糠酵素風呂。買物。莉子、大学卒業式。
- 24日(月)▼「八句会」の十二周年記念特集の冊子到来。暖かな編集。「滋賀県、飯沼と俳句」について調べ始める。十五時、新宿の北村監督の事務所。井上井月顕彰会と、秋の「千両千両」井月さんまつり」について打合せ。あと伊那市とリモートで打合せ。
- 25日(火)▼朝から順天堂。齋浦先生と面談。桃子同伴。検査結果は肝臓の転移3.3センチに拡大している。腫瘍マーカーも上昇しており、どうやらGCDの化学療法の効果目が薄れている可能性が高いと。しばらくは続けるが、遺伝子パネルの準備に入ると。厳しい診断。あと散策し

- 「いわき海の俳句全国大会」「伊東温泉つじ祭り全国俳句大会」の応募用紙をセツト。「天為」発行所にて「火の会」十一人。
- 12日(水)▼九時過、幕張駅。高校同期、北原泰明君の車。大野田井蛙さんと三人の旅。鹿島神宮拝す。雨となる。神橋「そば処 砂場」の蕎麦の昼食。勿来関に寄り、「いわきワシントンホテル」に投宿。町を歩いて「だいいん家」という店に入り夕食。
- 13日(木)▼八時過、ホテル発。白水阿弥陀堂。何回か来ているが、紅白の梅が満開で、澄み渡った空も良く、まさに極楽浄土の趣き。近くの大越家前の盤水先生の句碑(ふんだんな懸巢の声や阿弥陀堂)にも久々詣でる。相馬へ。相馬中村城を散策し会津若松へ向う。会津盆地は雪が消えず。二年前、拝観できなかった勝常寺の薬師仏を訪ねるが、今回も閉じていて叶わず。会津の七日町通りを散策。「福西本店」の「あいづ浪漫亭しおぐら」でコーヒート甘味。「会津若松ワシントンホテル」に投宿。「ガスライト」で夕食。
- 14日(金)▼夜中に起きると満月に近い月。エッセイのヒントなどをメモ。朝食ゆつくり。このホテルの朝食は充実している。八時発、雪の磐梯山がい。いわきを通って、那珂湊の「おさかな市場」へ。今回は少しだけ買う。佐原の「伊能忠敬旧宅」などを散策し、幕張の北原泰明君の家へ。信州の野沢菜の古漬や沢庵があるというので……。懐かしい食(物)夫人の款待に感謝！ 旅終る。
- 15日(土)▼終日家。雑用こなす。作句。那珂湊で買ったびん長のツケのとり和。鰯の開き。
- 17日(月)▼九時、東京目白クリニクにて八回目の点滴治療。久々、新宿の「手打蕎麦 渡邊」。帰路の小田急線で寝過す。酒を飲んでいた時代

- て連雀町の蕎麦「神田まつや」。蕎麦掻がうまい。あちこち一斉に桜が開花。
- 26日(水)▼数句会の選句。第四句集を纏めることを思い立ち、「然々と」以降の俳句を点検。
- 27日(木)▼午後、「三田俳句 丘の会」の句会に出席。田町の専売ビル。夜「千両千両井月さんまつり」のパンフレット作成の準備。
- 28日(金)▼十時半、新宿の北村事務所。秋の「千両千両井月さんまつり」のパンフレット作成につき、デザイナーに説明など。十三時、銀漢発行所に小泉良子さんと句集の序文についての打合せ。
- 29日(土)▼昨日と打って変って冷たい雨。自分の句稿の整理を進める。十五時過、谷中「夕焼け酒場」へ。「銀漢亭の日」。三十五名程。超結社の方が集まって下さる。清人さんから気仙沼の海産物。
- 31日(月)▼九時、東京目白クリニクにて九回目の化学療法を受ける。その間、桃子、杏子が大場院長から今後の方策についてセカンドオピニオンを受ける。帰路、「新宿中村屋」に寄り、二人にカレーを紹介する。私はオムレツ。草餅、桜餅などを買う。帰宅して寝る。
- 4月1日(火)▼莉子、入社式と。宮沢はオーガスタのマスターズトーナメントの撮影に渡米。婦恋村から到来の卵で玉子かけごはん。終日原稿執筆。選句など。
- 2日(水)▼順天堂。娘二人同伴。遺伝子パネルについて石川先生から説明を受ける。あと血液採取。昼、連雀町の「いせ源」鰯鰯鍋へ娘を案内。私は何回か来ているが二十年振り位か。旨い！ 「神田志乃多寿司」でおいなりさん、鯖寿司を買って帰る。龍正君十八歳の誕生日。